

活動に至った理由・背景

「みつぎさいこう」とは、広島県尾道市御調町を地元有志を中心に再考・再興しようという活動です。

2010年から活動を開始。取り壊しが決まった店舗や空きスペース、小学校などでイベントやアートプログラムなどを行ってきました。これからの町を担う子供達の現状や、意見を直に感じたいという思いから子供達に向けた活動を中心に行ってきました。

同時に継続した活動を行うため、拠点づくりを開始。町の商店街にあった古い医院を借り受け、セルフリノベーションをスタートしました。この医院は大正7年に建てられた洋館作りの建造物で、昭和40年頃には閉院、ここ10年間は空き家になっていました。歴史的建物も減ってしまった中心部では貴重な建物で、地元の人からも「朽ちてしまう前になんとか保存できないか」という声も上がっていました。運命的な縁もあって建物の管理を任せていただき、改修と活用へ向けて活動が本格化しました。

活動地域の概要

活動地域である御調町は尾道市の最北に位置し、「尾道」のイメージとはまったく異なる山間部です。尾道市街からは車で30分。人口は約8,000人。災害は少なく、夏は涼しく雪も多すぎず、年間を通して過ごしやすい田舎町です。

2005年3月28日に尾道市に編入され、御調郡御調町から尾道市御調町に変更になりました。菅野、上川辺、市、大和、綾目、河内、今津野という7つの地区(村)からなり、活動拠点の医院のある市地区は町の中心部であり、町で唯一の商店街は、かつて島根から通る銀山街道の宿場町としてにぎわい、昭和中期まで商店街にも多くの店が連なっていました。ここ30年ほどで商店街の店舗数も激減し、人口も減少し、7校の小学校も現在では2校に統合されました。町の中心部に道の駅、温泉施設などがあり、公立総合病院や老人ホームも充実し、福祉で有名な町です。今年(2013年)はじめに商店街を二分する道路が開通し、商店街の風景が大きく変化しました。

設立年月 2010年4月
メンバー数 7名
代表者名 梶高 慎輔 (かじたか しんすけ)
〒722-0311 広島県尾道市御調町市 1200
TEL.0848-36-5866
nagayanagaya@gmail.com

団体のミッション
私たちは町に住む人・訪れる人が町を好きになる「きっかけ」をつくるため
「歴史的建造物の活用」「空き家・空き地の再生」
「アートやデザイン」などを活用した活動を行っています。

古い医院を活用した
新しい交流と創造の場づくり
みつぎさいこう実行委員会「広島県尾道市」

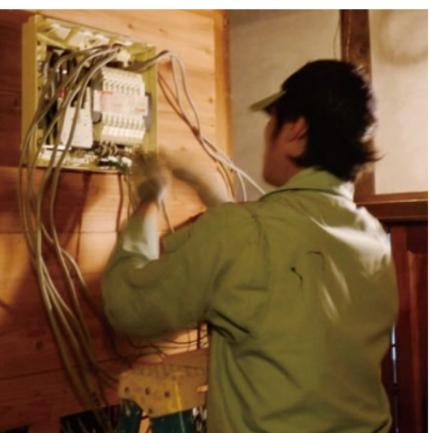
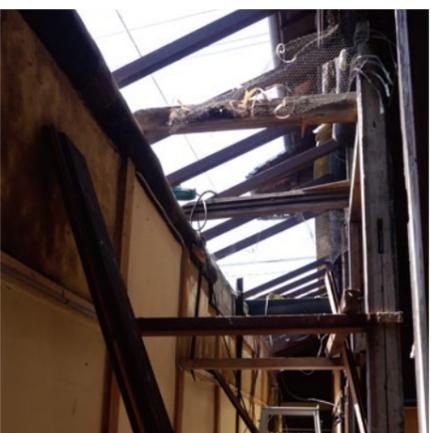
初めてのこのことだから、楽しめる。

医院の改修／ 全体のながれ

院内には「玄関」・「待合室」・「診察室」・「調剤室」・「院長室」・「畳の間」・「レントゲン室」があり、部屋数にして6室ありました。それぞれの部屋に独立した機能をもたせることを目標に改修をすすめました。畳の間の一部を縮小してカフェの台所スペースを設け、部屋が7室に増えました。

最初は掃除やペンキ塗りなどでしたが、少しずつ床張り天井張り、建具の修復など難しい作業にもチャレンジしていき、専門性が必要な箇所での作業はサポートしてもらい作業が早くすすみました。

玄関+待合室
↓土間うち、階段の設置、壁の塗装、巨大御影石の移動
医院は床下が1メートル近くあり、玄関から部屋に上がるのに高さがあったので、階段を設置し、お年寄りでもスムーズに上がるようにしました。地元のベテラン大工さんと一緒に工事しました。



調剤室 ↓ 店舗へ
↓床・壁・天井の塗装、建具・家具の修繕
元々あった薬棚や水場を修繕、店舗に使う家具なども医院にあったものをリメイクして制作しました。

院長室 ↓ 雑貨スペースへ

↓床張り、壁塗り、壁抜き
昭和後半に取り付けられたらしき石工ボンドの天井とベニヤ板の壁材を解体。畳を外してフローリングへ改造。土壁が所々崩れていたので補修しました。

畳の間 ↓ 客室、店舗として利用
部屋を縮小してキッチンを増設

レントゲン室
↓アトリエ・スタジオへ
X線撮影器の整備と展示、建具の修繕などを行いました。

外壁の修繕
崩れていた外壁部分を撤去、左官さん、大工さん、瓦屋さんの力を借りて改修が完了しました。

オープン当初の イベント

ものづくり体験教室

『革のコインケースづくり教室』
講師：藤田仁子さん(革かばん作家)
会場：みつぎグリーンランド
『モザイクキャンドルづくり教室』
講師：岡本奈都美さん、尾道大学生
会場：みつぎグリーンランド
『森のモビールづくり教室』
講師：ウナキアヤさん(キャンドル作家)
会場：みつぎグリーンランド

夏祭りへの参加

医院からでてきた昔の町の写真を商店街の建物に投影しました。

毎週金曜日に尾道の山手にある小さなパン屋さん「ネコノテパン工場」が出張販売にやってきます。御調町にはパン屋がないので喜んでいただいています。常連の方や予約をされる方などもあります。



院長室
『ショップ・多目的スペース』
パンの出張販売、雑貨の販売など

まるみデパートのオリジナルグッズやセレクト商品の販売。毎週金曜に尾道市街のパン屋さんの出張販売や、不定期で尾道市街の雑貨屋さんの展示販売を行っています。

調剤室『もち肌化粧品』
手作り石けん・アロマ雑貨のお店

赤ちゃんからお年寄りまで使える手作りのオーガニック石けんなどのスキンケア用品や、アロマ雑貨などを販売しています。小中高校生には無料でスキンケアレッスンをしています。

使う素材や使い方、体調に応じたケアの方法などを親身に対応しています。実際に地元の小学生や中学生が、スキンケアレッスンにやってきました。

リピーターも多く、今のところ女性の利用者がほとんどですが、今後は男性への利用者も増やしたいと考えています。

あかちゃんからお年寄りまで使えるスキンケア用品やアロマ雑貨、オリジナルのルームスプレーを扱っています



近所の方がハンドマッサージをしにやってきました。世間話をしながらのやさしく丁寧なマッサージ



診察室『cafe FLORA』
カフェ&サロン

有機栽培にこだわった飲み物やおやつ、ランチを提供しています。ランチでは、地元の野菜とハム・地元のパン屋の素材を使ったサンドウィッチセットとパンランチを提供。好評を得ています。客層は小さな子供連れのお母さんやご家族から若者、お年寄りまで幅広く、女性が多いです。地元の方4割、町外や市外の方6割くらいです。



地産の野菜とハム・パンを使ったランチ



不定期で夜のオープンも行っています

医院の活用

改修後、まず建物の名称を「旧」村井医院から「まるみデパート」へ変更しました。「まるみデパート」という名前は、御調町の旧町象の愛称「まるみ」と子供から大人まで楽しめる場所にしたいという想いから「デパート」を合わせて名付けました。
スペースのオープンは金曜・土曜・日曜、不定期で夜のオープンを行っています。

まるみデパート

畳の部屋

『こどもカフェ & だがしコーナー』

部屋の一角に駄菓子コーナーがあり、土曜と日曜限定で「こども店長」がお店を切り盛りします。

こども店長は公募して、近所の子供や来店した方のお子さんなどの中から希望者をお願いしています。接客、会計、店内のポップや装飾作りなどを楽しくやってもらっています。現在 8 名のこども店長登録があります。

- 左上 日曜日は子供でにぎわいます！
- 右上 近所のお菓子屋さんまでお使い
- 左下 値札付け～商品の陳列もやります！
- 右下 お会計の練習中



日本初期型の X 線撮影機の展示

医院に残っていた X 線撮影機を整備して展示しています。島津製作所が製造した日本初期型のもので、島津製作所の資料館に展示してあるものとほぼ同型です。資料館に問い合わせた番号や扱い方を聞いて展示しています。



小物づくりについて近所のおばちゃんが相談にきました。作家の仁子さんはそんな時も丁寧に対応します



2013年4月みつぎさいこう-まちづくりスタジオ OPEN さらに町を面白くしていきます！

作家の工房と一緒に革小物作りができます 若いご夫婦、いちゃいちゃしながら手仕事してました！

レントゲン室=『革靴工房』
『みつぎさいこう 事務局』
アトリエ・オフィス

医院の活用を開始した10月～3月末までの半年間は、尾道市瀬戸田町在住の革靴作家藤田仁子さんのアトリエとして活用しました。ただ作品を作るだけでなく、その場で直接オーダーを受けたり、要望を聞くなど、作家さんにとっては刺激的なアトリエ作業になりました。

靴や小物のオーダーはもちろん、近所のおばちゃん、おじちゃんの小物の修理や相談なども受け、地元の人から愛される存在になりました。アトリエは終了しましたが「今後もこの町で制作をしたい」という作家さんの要望から、現在空き物件を探しています。

2013年4月からは、「みつぎさいこう-町づくりスタジオ-」と題して団体の事務局兼スタジオとして利用しています。

仁子靴

今後の予定

まるみデパートの運営

多目的スペースの特徴を少しずつ変化させていく予定です。「御調町で何かやりたい!」という方の活躍の場にできればと考えています。



上田家の母屋

新たな建物の再生(進行中)

まるみデパートと同じ商店街にある物件「上田呉服店母屋」を2013年2月から改修しています。Uターンで戻ってきた若夫婦と共同で作業中。今回のまるみデパートでの活動をきっかけに出会ったご夫婦です。「みつざいこう」が全面協力をしています。



歴史民俗資料館と隣の空き地の活用

2012年から御調町歴史民俗資料館を管理しています。その中で、資料館横の空き家と空き地の活用の計画が持ち上がりました。

学童としての活用や、里山の自然環境を体験出来る場所になればと考えています。



歴史民俗資料館の臨時開館

町の案内マップの制作

既存のスポットを紹介し、繋げるための広域地図を制作中。また病院の患者さんが楽しく散歩出来る路地や季節を感じられる道、ポタリングコースや町歩きできるコースなどを開発し地図で展開する予定。

空き家探し、空き家バンクの作成

今回の活動をきっかけに、町内外の人で空き家を探している方が増えています。そういった方のために地域をあげて受け入れ態勢をつくる必要ができています。

まるみデパート以外にも街中のスポットを増やし、町全体で盛り上げて行ければと考えています。

団体設立の経緯

2006年からUターンしてきた若者4名ほどで子供と地域に向けた展示やワークショップなどを企画し実施してきました。地元の小学校、中学校、高等学校の全生徒に協力を呼びかけ、自分の夢をテーマに絵やメッセージを集めた企画展を開催。子供を通して地域に発信する活動を続けてきました。2010年には商店街を二分する道路建設が進行中、空きスペースになっていた車屋の店舗を道路工事着工までの期限付きで借り受け活動拠点にすると共に、そのスペースを子供たちの絵で飾りライトアップやイベントを行いました。『自分たちの町はどんな状況なのか?』『これからの町はどうなっていくのか』を感じ、自分たちに何が出来るのかを探してきました。そんな中、町の商店街にあった旧村井医院を管理することが決まり、改修作業がスタートしました。それと同時に実行委員会としての動きが本格的にスタートしました。「みつざいこう」という名前には『町を再考しよう。町を再興したい!最高にしたい!』というメッセージが込められています。